

受賞団体の活動の概要

< 農林水産大臣賞 > 総合的に優れた取組み

古瀬の自然と文化を守る会（茨城県 谷和原村）

谷和原村に昭和 40 年代まで残されていた農村の環境と文化を復元し、後世に伝えていくことを目的に、湿田、水路、樹木などを地域の農業者等が自らの手で再生。自然環境の再生に伴って、活動が都市住民からも注目され、新興住宅団地の自治会や、東京の「葛飾区郷土と天文の博物館」活動、葛飾ろう学校との交流も盛んになるなど幅広い取組みに発展。また、伝統的な祭りや住民組織が復活するなどの地域振興が図られている。



水田での体験学習



灯籠流し（祭りの復活）

< 農村振興局長賞 > 農業・農村振興、地域づくりに向けた取組み

愛西土地改良区（滋賀県 彦根市）

琵琶湖と水田との間を魚が行き来したかつての農村環境を回復し、人と生きものが共生できる農業農村の創造を目指し、滋賀県と連携した「魚のゆりかご水田プロジェクト」により、排水路から田んぼまでの魚類遡上が可能な施設を設置。ニゴロブナ等の遡上が実現するとともに、減農薬栽培等による「魚のゆりかご水田米」の確立にも成功し、農業・農村の振興に貢献。



魚類遡上施設



水田で泳ぐフナ

< 自然環境局長賞 > - 自然生態系の保全・再生に向けた取組み -

財団法人 阿蘇グリーンストック（熊本県 阿蘇郡一帯）

阿蘇の自然を後世へ引き継ぐことを目的に、阿蘇の草原維持のために都市からボランティアを募り、野焼きや輪地切り（防火帯）を実施。その規模は 3500ha に及んでおり、人の手が加わることにより、阿蘇の自然環境が維持・向上。



ボランティアに対する研修の様様



『輪地』（防火帯）を焼き広げて安全性を確保

<朝日新聞社賞> - 活動内容が幅広く、社会的貢献度が高い取組み -

NPO法人 宍塚の自然と歴史の会（茨城県 土浦市）

100ha に及ぶ宍塚の里山を再生し、後世に受け渡すことを目的に、山林の手入れ、田畑の復元、米オーナー制による谷津田の維持と収穫物の流通、希少種保全のための池の管理、生物調査、観察会、全国規模のサミットの開催など多様な活動を実施。里山の自然再生を先駆的に行ってきた。



宍塚大池



古代米で文字 田んぼ塾

<子どもと生きもの賞> - 子供たちの環境教育への取組み -

ふるさとすみの地域活動推進協議会（兵庫県 小野市）

平成9年に絶滅危惧種のトンガリササノハガイ等の希少生物が発見されたことを契機に、その保護のため県営ほ場整備を活用して「きすみのビオトープ水路」を作り、子供たちの参加による水路管理、生物生息調査等の生物の生息環境に配慮した活動を展開。



子どもたちによる生物調査



水路の管理

<パートナーシップ賞> - 多様な主体が連携した取組み -

ナマズのがっこう（宮城県 築館町、若柳町、迫町）

4万羽以上のマガンの飛来地としてラムサール条約の登録湿地に指定された伊豆沼周辺において、農業者、土地改良区、小学校、自然保護団体、行政等の多様な主体が連携し、農業と自然環境との共生を目指し、環境に配慮したほ場整備、冬季湛水田による環境創造型農業を展開。



冬期湛水田の白鳥



田んぼのがっこう（田植え）

<オーライ！ニッポン賞> - 都市と農村の共生・対流によって実施している取組み -
 四季彩のむら（宮崎県 高鍋町）

昭和 30 年代の農村風景の復元と、農地防災ダムの土取り場跡地を自然再生した高鍋湿原を含めた里地・里山の環境保全を目的に、景観活動や小学生の農業体験、収穫祭での都市との交流活動など、幅広く展開。



高鍋湿原



れんげ祭り

<こどもたちの手作り自然賞> - 都市部における優れた取組み -
 江戸川区立篠崎第五小学校（東京都江戸川区）

都市部の学校内を最大限に活用し、地元ボランティアなどと協力して、校庭に手作りの田や井戸、水車小屋などを設置。水田での古代米栽培、絶滅危惧種のムジナモや日本メダカの復活・再生を目指す取組など、環境教育を実施。



校舎の裏に作られた井戸、水車、弥生式水田



田植え

受賞団体の位置図

